

「広報・県民運動専門委員会」

第11回会議 次第

日 時：平成30年8月30日(木)14:00～16:00

場 所：大津合同庁舎7-D会議室

1. 開 会

2. 開会挨拶

3. 審議事項

(1) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に係る
愛称・スローガン募集要項、審査要領および部会設置要綱について

(2) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
県民運動基本計画の方向性について

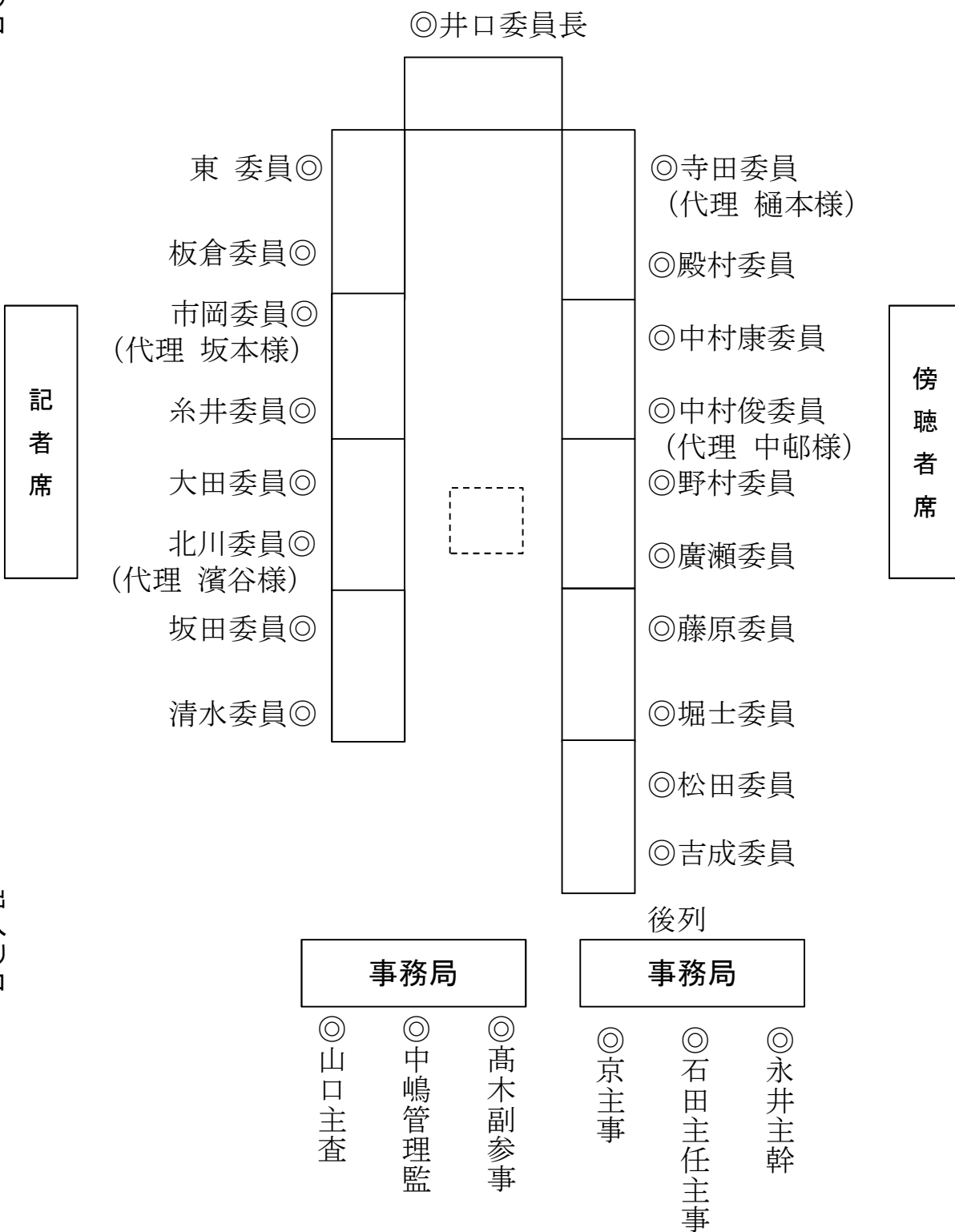
4. 説明・報告事項

(1) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
ポスター制作について

5. 閉 会

配 席 図

— 出
入
り
口 —





第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

第11回広報・県民運動専門委員会

会議資料



第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

チャッピー

キャッピー

日時：平成30年8月30日(木)14:00~16:00

場所：滋賀県大津合同庁舎7-D会議室

「広報・県民運動専門委員会」委員名簿

(順不同・敬称略)

分 野	所属団体・役職名	氏 名	備 考
1	日本放送協会大津放送局 副局長	村松 泰	
2	びわ湖放送株式会社 放送管理局報道制作部グループリーダー	坂田 しのぶ	
3	株式会社京都放送滋賀支社 支社長	堀士 昌哉	
4	株式会社京都新聞社滋賀本社 編集局 編集部長	松田 規久子	
5	株式会社中日新聞社大津支局 支局長	嶋津 栄之	
6	株式会社エフエム滋賀 編成制作部 部長	糸井 孝実	
7	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 生涯スポーツ担当次長 兼 広域スポーツセンター次長	野村 智洋	
8	滋賀県障害者スポーツ協会 副主幹	吉成 永部	
9	滋賀県商工会議所連合会 滋賀県中小企業相談所専門指導室 室次長	藤本 正勝	
10	社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 常務理事 兼 事務局長	北川 肇	代理出席
11	公益社団法人びわこビジターズビューロー 事務局長	天川 隆男	副委員長
12	公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事 兼 事務局長	東 登志也	
13	滋賀県地域女性団体連合会 副会長	上村 照代	今回から就任
14	一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会 事務局長 兼 常務理事	八木 兵次郎	今回から就任
15	滋賀県青年団連合会 会長	市岡 新也	今回から就任 代理出席
16	滋賀県小学校長会 副会長	中村 康春	今回から就任
17	滋賀県中学校長会 副会長	中村 俊英	今回から就任 代理出席
18	滋賀県高等学校長協会 会長	大田 祥登	今回から就任
19	滋賀県私立中学高等学校連合会 副会長	寺田 佳司	今回から就任 代理出席
20	滋賀県特別支援学校長会	井尻 正志	今回から就任
21	同志社大学政策学部 教授	井口 貢	委員長
22	株式会社TMオフィス 代表取締役・PRプロデューサー	殿村 美樹	
23	コミュニケーション・プランニング c h o c o m a k a 代表	廣瀬 香織	
24	野洲市政策調整部広報秘書課長	北脇 康久	
25	豊郷町企画振興課長	清水 純一郎	
26	滋賀県総合政策部広報課長	藤原 久美子	
27	滋賀県県民生活部県民活動生活課県民活動・協働推進室長	板倉 成子	今回から就任

審議事項

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガン募集要項（案）

1 趣旨

平成36年（2024年）に滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」といいます。）は、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通い合う郷土づくりの機会として県民総参加により、夢や感動、連帯感を共有できる大会とすることを目指しています。

この大会の機運を高めるため、広く県民に愛され、滋賀の魅力を県内外に発信できる大会の「愛称」と「スローガン」を募集します。

2 募集期間

平成30年9月20日（木）～平成30年11月12日（月）（当日消印有効）

3 応募資格

制限はありません。

4 募集作品

(1) 愛称

親しみやすく呼びやすい、滋賀県らしさあふれる言葉で表した、平成36年（2024年）に開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の名称・呼び名。

「滋賀〇〇国スポ・障スポ」「〇〇しが国スポ・障スポ」などのように「滋賀」「国スポ・障スポ」の文字を必ず入れてください。「滋賀」の文字は、ひらがな、カタカナ、ローマ字（SHIGA）でも構いません。

(2) スローガン

大会に向けた思いや開催基本方針で目指す大会を印象づける言葉・キャッチコピー。

5 賞および賞金

応募作品の中から、「愛称」「スローガン」それぞれ次のとおり最優秀賞および優秀賞を選定し、賞状、賞金を授与します。ただし、受賞者が中学生以下の場合には、賞金に代えて賞金相当額の図書カードを贈呈します。

なお、複数の方から応募があった作品が入賞した場合は、抽選により受賞者を1名決定します。

(1) 愛称

最優秀賞 1作品 賞状、賞金5万円

優秀賞 3作品 賞状、賞金1万円

(2) スローガン

最優秀賞 1作品 賞状、賞金5万円

優秀賞 3作品 賞状、賞金1万円

6 応募方法

(1) 募集チラシについているはがき、郵便はがき、ファクシミリまたはインターネット（しがネット受付サービス）のいずれかの方法で応募してください。

ただし、電話、電子メールによる応募は受け付けません。

(2) 応募1件につき「愛称」、「スローガン」各1作品を明記し、それぞれに説明や込められた思いを必ず記載してください。

なお、「愛称」、「スローガン」のいずれか1作品の応募も可能です。

(3) 応募者の名前（ふりがな）、郵便番号、住所、年齢、電話番号、職業（学校名、学年）を記入してください。

(4) 作品は、自作で未発表のものに限ります。

(5) 1人何作品でも応募できます。ただし、1回の応募につき各1作品の応募とし、それぞれ異なる作品に限ります。

(6) 作品応募に係る費用は、応募者の負担となります。郵便による場合、切手のないものは受け付けません。

7 審査および決定

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会において審査し、入賞作品を決定します。

8 発表および表彰

入賞作品の発表は、平成31年3月頃に受賞者に直接連絡するほか、ホームページなどで公表します。また、表彰については、別途受賞者に通知します。

9 その他

(1) 最優秀作品は、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の「愛称」、「スローガン」として採用し、その広報活動などに広く使用します。なお、愛称は、「国スポ」「障スポ」それぞれの大会愛称として分離した形でも使用します。

(2) 入賞作品の著作権（著作権法第27条および第28条に規定する権利を含みます。）、商標権その他一切の権利は、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会に帰属するものとします。

(3) 応募作品について著作権等に関わる問題が生じた場合は、全て応募者の責任となります。

(4) 応募作品は、返却しません。

(5) 応募作品は補作（加筆・修正）を行った上で、入賞作品とする場合があります。

(6) 住所、名前、電話番号等の個人情報については、本事業実施に関わる事務以外には使用しません。なお、受賞者の名前、住所（市区町村名）、職業・学校種別については原則 公表します。

(7) この募集要項に違反したものは、審査の対象となりません。後日違反が判明した場合には、入賞を取り消すことがあります。

(8) 応募の時点で、この募集要項の記載事項に同意したものとします。

10 応募・問い合わせ先

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

(滋賀県県民生活部スポーツ局国体・全国障害者スポーツ大会準備室内)

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会事務局
愛称・スローガン募集係

TEL：077-528-3321 FAX：077-528-4832

ホームページアドレス：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/sports/2024/index.html>

11 参考

＜当県での前回大会の国体・全国身体障害者スポーツ大会の愛称・スローガン＞

開催年 (開催都県)	愛称	スローガン
1981年 (滋賀県)	びわこ国体 びわこ大会	水と緑にあふれる若さ わたしにも こんな力が 生きがい

＜他県で開催の国体・全国障害者スポーツ大会の愛称・スローガン＞

開催年 (開催都県)	愛称	スローガン
2017年 (愛媛県)	愛顔 ^{えがお} つなぐえひめ国体 愛顔 ^{えがお} つなぐえひめ大会	君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え
2018年 (福井県)	福井しあわせ元気国体 福井しあわせ元気大会	織りなそう 力と技と美しさ
2019年 (茨城県)	いきいき茨城ゆめ国体 いきいき茨城ゆめ大会	翔べ 羽ばたけ そして未来へ
2020年 (鹿児島県)	燃ゆる感動かごしま国体 燃ゆる感動かごしま大会	熱い鼓動 風は南から
2021年 (三重県)	三重とこわか国体 三重とこわか大会	ときめいて人 かがやいて未来
2022年 (栃木県)	いちご一会とちぎ国体 いちご一会とちぎ大会	夢を感動へ。感動を未来へ。

＜第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針＞

1 基本方針

滋賀県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。

この地で平成36年(2024年)に開催する第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会は、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通い合う郷土づくり、全国から滋賀を訪れる多くの人との交流の絶好の機会として、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民の皆さんの総

参加により、夢や感動、連帯感を共有できる大会とすることを目指します。

大会の開催を契機として、県民の皆さんがより一層身近にスポーツを楽しむことのできる環境をつくり、健康・体力の保持増進と競技力の向上を図るとともに、障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を進めます。

併せて、福祉、教育、観光および経済への総合的かつ複合的な効果を通して、ふるさと滋賀の活力をさらに高め、将来にわたり持続可能な共生社会の実現につなげてまいります。

2 実施目標

(1) 滋賀をスポーツで元気にする大会

県民の皆さんが日常的にスポーツを「する」「みる」「支える」ことのできる環境づくりに取り組むとともに、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送ることができるよう、健康づくりへの関心を高め、行動につなげるきっかけとします。

(2) 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会

若者や女性の、大会に向けた準備や大会運営への主体的な参画を図るとともに、心身ともにたくましく思いやりの心を持った子どもの育ちや、女性がより一層スポーツに親しむことのできる環境づくりにつなげます。

(3) 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会

県、市町をはじめ、関係機関・団体、大学や企業との緊密な連携のもと、多様な人、多様な主体との協働を通じた創意工夫による大会準備・運営を行うとともに、滋賀の持つ「人の力」「地と知の力」を伸ばします。

(4) 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会

環境へのこだわりや歴史・文化・自然など多様な滋賀の魅力を県民自らが見つめなおし、全国に発信するとともに、大会準備や運営、「おもてなし」の経験をもとに、将来につながるビジネスへの展開など、地域経済の活性化を図ります。

(5) 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会

大会を契機として、滋賀の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次の世代を育てるなど、滋賀のスポーツの発展を支える好循環の形成に努めるとともに、次代を担う子どもが夢を育み、実現することのできる環境づくりを目指します。

(6) 滋賀の未来に負担を残さない大会

既存施設の有効活用や、大会運営の簡素化・効率化を徹底するとともに、施設整備が必要な場合は、環境に最大限配慮し、大会終了後の持続的な活用が可能で、かつ防災等多目的に使用できる、誰もが使いやすい施設としての整備を目指します。

(7) すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

障害のある人が主体的に大会に参画することや、障害の程度に関わらず日常的にスポーツに親しむ環境を整えることで自己実現の機会を拡げるとともに、障害のある人もない人もみんなでスポーツを楽しむことを通じて、人と人との絆を育み、障害への理解を深め、ともに支え合う社会を築きます。

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガン審査要領（案）

1 目的

この要領は、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の愛称およびスローガンの入賞作品を選定するために必要な事項を定める。

2 審査基準

審査に当たっては、次の事項を勘案して選定するものとする。

【愛称・スローガン共通】

- (1) 言葉の響き、リズムがよく、印象に残ること。
- (2) 一部の地域に限定される表現が用いられていないこと。
- (3) 過去に使用された作品と類似していないこと。
- (4) 開催基本方針に沿った内容であること。

【愛称】

- (1) 「滋賀（しが、シガ、SHIGAも可）」および「国スポ・障スポ」という言葉を用いていること。

例 滋賀〇〇国スポ障スポ、〇〇しが国スポ・障スポ、シガ〇〇国スポ・障スポ、
〇〇SHIGA国スポ・障スポ など

- (2) 誰からも親しみやすく、呼びやすいものであること。
- (3) 滋賀県をイメージできる言葉で、滋賀県の魅力を広く全国に発信できること。

【スローガン】

- (1) 大会に向けた思いや開催基本方針で目指す大会を印象づける言葉であること。
- (2) 滋賀県をイメージできる言葉・フレーズが用いられていること。

3 審査方法

審査は、事務局による整理の後、広報・県民運動専門委員会にて審査を行う。

- (1) 事務局による整理（第一次選定）

事務局は、応募作品を取りまとめ、愛称・スローガンごとに「応募作品一覧表」を作成する。

さらに、事務局は「2 審査基準」に基づき「応募作品一覧表」の中から300作品程度を選定し、「第一次候補応募作品一覧表」を作成する。

- (2) 愛称・スローガン選定部会委員による第二次選定（書面審査）

- ① 部会委員は、「第一次候補応募作品一覧表」の中から、優れていると思われる作品各10作品程度を優劣つけずに選定し、その結果を事務局に報告する（部会委員による補作は行わない）。

- ② 事務局は、①で提出された作品をまとめ、「第二次候補作品一覧表」を作成する。
- (3) 愛称・スローガン選定部会委員による第三次選定
- ① 部会委員は、「第二次候補作品一覧表」の中から、優れていると思われる作品を、順位を付けて各5作品を選定し（上位から5点から1点の点数とする）、部会委員の協議により愛称およびスローガンそれぞれから7作品程度を選定し、事務局に報告する。（部会委員による補作は行わない）。
- ② 事務局は①で選定された作品をまとめ、「第三次候補作品一覧表」を作成する。
- (4) 最終候補の選定
- 専門委員会を開催し、委員の協議により愛称およびスローガンそれぞれの「第三次候補作品一覧表」の中から5作品程度を選定し、事務局に報告する。
- (5) 事務局での整理
- 専門委員会から報告を受けた5作品程度について、類似商標の調査を行った後、県内外からの一般投票を実施し、その結果を整理する。
- (6) 広報・県民運動専門委員会による決定
- ① 専門委員会を開催し、一般投票の結果を参考に「入賞作品」について協議し、最終的に最優秀作品各1作品と優秀作品各3作品をそれぞれ選定する。（適宜専門委員による補作を行うことができる。）
- ② 最優秀作品について、委員の協議により、趣旨を策定する。
- ③ 最優秀作品、優秀作品の応募者が複数ある場合は、別途定める抽選方法により、受賞者を決定する。

4 参考

＜第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針＞

1 基本方針

滋賀県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。

この地で平成36年(2024年)に開催する第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会は、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通い合う郷土づくり、全国から滋賀を訪れる多くの人との交流の絶好の機会として、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民の皆さんの総参加により、夢や感動、連帯感を共有できる大会とすることを目指します。

大会の開催を契機として、県民の皆さんがより一層身近にスポーツを楽しむことのできる環境をつくり、健康・体力の保持増進と競技力の向上を図るとともに、障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を進めます。

併せて、福祉、教育、観光および経済への総合的かつ複合的な効果を通して、ふるさと滋賀の活力をさらに高め、将来にわたり持続可能な共生社会の実現につなげてまいります。

2 実施目標

(1) 滋賀をスポーツで元気にする大会

県民の皆さんが日常的にスポーツを「する」「みる」「支える」ことのできる環境づくりに取り組むとともに、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送ることができるよう、健康づくりへの関心を高め、行動につなげるきっかけとします。

(2) 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会

若者や女性の、大会に向けた準備や大会運営への主体的な参画を図るとともに、心身ともにたくましく思いやりの心を持った子どもの育ちや、女性がより一層スポーツに親しむことのできる環境づくりにつなげます。

(3) 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会

県、市町をはじめ、関係機関・団体、大学や企業との緊密な連携のもと、多様な人、多様な主体との協働を通じた創意工夫による大会準備・運営を行うとともに、滋賀の持つ「人の力」「地と知の力」を伸ばします。

(4) 滋賀の魅力を見直し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会

環境へのこだわりや歴史・文化・自然など多様な滋賀の魅力を見つめなおし、全国に発信するとともに、大会準備や運営、「おもてなし」の経験をもとに、将来につながるビジネスへの展開など、地域経済の活性化を図ります。

(5) 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会

大会を契機として、滋賀の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次の世代を育てるなど、滋賀のスポーツの発展を支える好循環の形成に努めるとともに、次代を担う子どもが夢を育み、実現することのできる環境づくりを目指します。

(6) 滋賀の未来に負担を残さない大会

既存施設の有効活用や、大会運営の簡素化・効率化を徹底するとともに、施設整備が必要な場合は、環境に最大限配慮し、大会終了後の持続的な活用が可能で、かつ防災等多目的に使用できる、誰もが使いやすい施設としての整備を目指します。

(7) すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

障害のある人が主体的に大会に参画することや、障害の程度に関わらず日常的にスポーツに親しむ環境を整えることで自己実現の機会を上げるとともに、障害のある人もない人もみんなでスポーツを楽しむことを通じて、人と人との絆を育み、障害への理解を深め、ともに支え合う社会を築きます。

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会 部会設置要綱
新旧対照表

旧		新	
第1条から第6条（略） 別表（第2条関係）		第1条から第6条（略） 別表（第2条関係）	
部会の名称	付託事項	部会の名称	付託事項
マスコットキャラクター 一選定部会	マスコットキャラクターの候補選定 に関すること。	マスコットキャラクター 一選定部会	マスコットキャラクターの候補選定 に関すること。
		愛称・スロウガン選定部 会	愛称・スロウガンの候補選定に関する こと。

**第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会 部会設置要綱（改正案）**

（趣旨）

第 1 条 この要綱は、第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会専門委員会設置規程第 5 条の規定に基づき、広報・県民運動専門委員会（以下「専門委員会」という。）の部会の設置および運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（部会の名称および付託事項）

第 2 条 部会の名称および専門委員会からの付託事項は、別表のとおりとする。

（部会の役員）

第 3 条 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、専門委員会委員長が指名する。
- 3 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
- 4 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名した部会委員がその職務を代理する。

（任期）

第 4 条 部会委員の任期は、部会の目的が達成されたときまでとする。ただし、部会委員が就任時の機関、団体等の役職を離れたときは、その部会委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

（会議）

第 5 条 部会の会議は、部会長が招集し、議長となる。

- 2 部会長は、付託事項の審議結果について、専門委員会に報告するものとする。

（庶務）

第 6 条 部会の庶務は、第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会事務局において行う。

附 則

この要綱は、平成 28 年 9 月 8 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 30 年 8 月 30 日から施行する。

別表（第 2 条関係）

部会の名称	付託事項
マスコットキャラクター選定部会	マスコットキャラクターの候補選定に関する事。
愛称・スローガン選定部会	愛称・スローガンの候補選定に関する事。

愛称・スローガン選定部会 部会委員候補(案)

審議事項1-(3)

【広報・県民運動専門委員会委員】

(順不同・敬称略)

所属等	氏名	備考
公益社団法人びわこビクターズビューロー 事務局長	天川 隆男	専門委員会副委員長
コミュニケーション・プランニング chocomaka 代表	廣瀬 香織	
びわ湖放送株式会社 放送管理局報道制作部グループリーダー	坂田 しのぶ	
滋賀県総合政策部広報課長	藤原 久美子	

【外部有識者】

所属等	氏名	備考
滋賀県広報印刷物アドバイザー	藤澤 武夫	

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画の方向性について

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、県民一人ひとりが、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に様々な形で参加、協力し、理解を深めることを促すために、次の取組を示し、大会開催に向けた県民総参加の取組を推進します。

1 取組

(1) 「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。

関連する項目、キーワードとして…

- ・誰もが不自由なく快適に過ごせる配慮
- ・あいさつ運動などの展開
- ・花いっぱい運動の展開
- ・環境美化（琵琶湖など）
- ・あたたかな応援活動
- ・自然、歴史、文化、食などによるおもてなし

(2) いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。

関連する項目、キーワードとして…

- ・デモンストレーションスポーツへの参加
- ・県や市町のスポーツ教室、スポーツイベントに参加
- ・イメージダンス
- ・健康長寿日本一
- ・スポーツの観戦、応援、声援
- ・スポーツボランティアへの参加
- ・アスリートとの交流
- ・生涯にわたって親しめるマイスポーツの発見

(3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

関連する項目、キーワードとして…

- ・開・閉会式や、大会関連イベント・行事等に参加
- ・選手への応援
- ・ソング、ダンス
- ・大会へのボランティア参加
- ・募金や企業協賛での協力
- ・子ども・若者・女性の参加
- ・マスコットキャラクター

2 主な推進スケジュール

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
	開催内定		開催決定		リハーサル大会	リハーサル大会 大会開催
計画など	基本 県民 計画 運動	ブ ア ロ ク シ ョ ン				
関連イベント	開催内定 周知活動		開催決定 イベント		開催1年前 イベント	開催直前 イベント

説明・報告事項

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 ポスター制作について

■ 経緯・目的

開催準備委員会では、平成 36 年（2024 年）に本県で開催される第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会の周知のために毎年広報ポスターを制作している。昨年度実施された子ども・若者参画特別委員会（通称：ジュニアユースチーム）第 4 期生（「大会の PR 大作戦」をテーマに活動）の活動報告において、大会を PR する方法の一つとして、モザイクアートポスターの制作が挙げられたことから、今年度は、県内外からテーマに沿った写真を募集し、その写真を使用したモザイクアートポスターを制作することで大会開催の周知を図るとともに、機運醸成につなげていく。

■ 写真の募集について

① 写真の募集テーマ

「滋賀県の魅力またはスポーツ・運動の魅力を表現した写真」

（例）・滋賀県の風景や観光地、特産物を写した写真

- ・スポーツ・運動を楽しむ様子を撮影した写真
- ・マスコットキャラクターのキャップィーやチャップィーを写した写真

② 募集期間（予定）

平成 30 年 9 月 20 日～平成 30 年 11 月 30 日（72 日間）

③ 応募方法

SNS（Instagram, Twitter）やメール、県ホームページで応募を受け付ける。

④ 景品

写真を応募いただいた方の中から抽選で以下の景品を送付する。

- ・近江牛ギフト券（5 点）
- ・マスコットグッズ（30 点）

⑤ 周知方法

- ・ 県内公共機関、スポーツ・文化施設へのチラシの設置
- ・ スポーツ大会・イベントでの周知（受付ブースの設置）
- ・ 広報誌や SNS での情報発信

■ ポスター制作について

① ポスターデザインの内容

A1判型で作成し、デザインは、大会の開催の啓発にふさわしいものとする。

＜先催県での実施例＞



東京都



和歌山県

② 制作方法

業者委託により制作

③ その他

完成したポスターについては、県HPにて公開するとともに、県内の学校、各種施設（スポーツ、文化、レジャー等）に掲出する（700枚程度）。

■ スケジュール（予定）

時期	内容
～9月中旬	周知チラシの作成・配付 応募フォーム作成・テスト実施
9月20日～11月30日	写真募集期間 周知活動（スポーツ大会や各種イベント等）
12月	写真取りまとめ、景品発送
1月～3月	収集した写真を委託業者へ提出 ポスター（モザイクアートデザイン）制作 作品の微調整→完成
4月	ポスター印刷発注→ポスター納品
4月下旬～	関係機関へ配付、掲出（H31年度中）